<H27-No21 : 地図編集 : 問題>

次の文は、地図投影法について述べたものである。ア～カに入る語句を語群から選び正しい文章にしたい。最も適当な語句の組合せはどれか。次の中から選べ。

- ・ 地図投影とは、アの経緯度をイの極座標値に変換する事である。
- ・ 地図上において、正角図法と正積図法の性質を同時に満足させる事は、ウである。
- ・ 地球上のあらゆる地点間の距離を同一の縮尺で地図上に表示する事は、エである。
- ・ 平面直角座標系(平成 14 年国土交通省告示第 9 号)に用いられている投影法は、オである。
- ・ カは、地球上の任意の範囲の面積が縮尺に応じて地図上に正しく表示される図法である。

語 群

a. 正角図法	b. 正距図法	c. 正積図法	d. 回転楕円体面上
e. 平面上	f. 理論上可能	g. 理論上不可能	

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1.	d	e	f	g	a	b
2.	d	e	g	f	c	c
3.	d	e	g	g	a	c
4.	e	d	f	f	b	a
5.	e	d	g	f	c	b

<H27-No22 : 地図編集 : 問題>

次の文は、公共測量における地図情報レベル 5000 以下の数値地形図の調製における地物等の取得・表示の方法及び数値地形図データファイル仕様について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 数値地形図に表示する対象は、測量作業時に現存し、永続性のあるものが原則であるが、建設中であっておおむね 1 年以内に完成する見込みのものは表示することができる。
2. 数値地形図に表示する地物の水平位置の転位は、行わないことが原則である。
3. 数値地形図への表現は、表示する対象をそれぞれの上方面からの正射影で形状を表示することが原則である。
4. 等高線、基準点、数値地形モデルを取得する場合の座標次元は、3 次元である。
5. 数値地形図データファイルでは、東西方向を X 軸、南北方向を Y 軸とする数学座標系を用いる。

<H27-No23 : 地図編集 : 問題>

次の文は、地理空間情報の製品仕様書について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 地理空間情報の製品仕様書には、地理空間情報の内容、構造、データ品質などが記述されている。
2. 地理空間情報の製品仕様書に記述する標準的な項目は、国際標準化機構（ISO）の規格として定められている。
3. 地理空間情報の製品仕様書を新たに作成する場合には、類似の地理空間情報の製品仕様書を参考にして作成することができる。
4. 地理空間情報の製品仕様書は、データ交換やデータを使用するときの説明書としては利用できないが、データを作成するときの設計書としては利用できる。
5. 地理空間情報の製品仕様書は、作り方や使用する機器の性能を規定した作業規程とは異なり、作成方法にとらわれない地理空間情報の作成を可能にしている。

<H27-No24 : 地図編集 : 問題>

次の a～e の文は、地理空間情報活用推進基本法（平成 19 年法律第 63 号）における基盤地図情報について述べたものである。明らかに間違っているものは幾つあるか。次の中から選べ。

- a. 基盤地図情報として必要な精度は、国土交通省令で、都市計画区域と都市計画区域外のそれぞれについて定められている。
- b. 都市計画区域の基盤地図情報の平面位置の誤差は 2.5m 以内、高さの誤差は 1.0m 以内である。
- c. 都市計画基図、道路台帳図、河川基盤地図は、基盤地図情報の整備に活用することができる。
- d. 基盤地図情報に係る項目は、国土交通省令で、測量の基準点、海岸線、道路の中心線、建築物の外周線などの 13 項目が定められている。
- e. 基盤地図情報の標高点として、国土地理院から 1m メッシュの数値標高モデルのデータが提供されている。

- 1. 0 (間違っているものは 1 つもない)
- 2. 1 つ
- 3. 2 つ
- 4. 3 つ
- 5. 4 つ